

## 平成30年度事業報告 主な概要

### 社会就労センターきたざと（生活介護事業・就労継続支援事業A型・就労継続支援事業B型）

就労継続支援事業A型では、当法人で運営をしている「屋内子ども遊び場・キッズピアあしかが」にて、場内業務補助及びSHOP販売業務・補助など接客訓練等を行ってきました。平成31年1月より新しく印刷業務を加え、一般就労へ近い就労の場の提供を実現し、新規利用者確保、作業効率化に取り組み、印刷業務の収入アップへと繋げていきました。

作業実績としては、A型事業が達成率96%と目標を少し割り込みましたが、生活介護102%・B型122%と目標を上回り好調でした。特にIT・印刷事業が達成率274%と目標を大きく上回りました。

### セルプ絆（就労移行支援事業・就労継続支援事業B型・就労定着支援事業）

セルプ絆の基本機能「就職という夢を実現する支援と地域生活の安定と充実のための支援を行う。また、一般就労が困難な障害者に一定の支援のもと、就労の機会を提供する。」を主目標とし、地域において社会への輪が広がるようやりがいのある社会生活の実現と継続的な生産活動の場を提供しました。

就労移行支援事業では、公文書の学習プログラムや、企業・現場実習支援等を通して一般就労支援を行い、年間で5名一般就労に結び付けました。B型では食品加工業務（製パン等）を行い、作業実績は目標に対する実績額95.7%でした。平成30年10月より開始した就労定着支援事業では、企業への訪問・関係機関との連携を図り、年間で5名の実績で、職場定着100%と支援が職場定着に繋がっています。

### デアクティビティセンターWIN（生活介護事業）

「デアクティビティセンターWIN」では、個人の感性を最大限に生かし、その人らしく活動することを大きな目的とし、個別に合わせた「日常生活上の支援・介護」「軽作業等の生産活動や創作的活動の機会の提供」「利用者主体の個別支援計画の作成、実践」を行ってきました。

WINグループ・銀河グループそれぞれの特色を生かした活動・支援を行い、合同の活動としてカラオケ（毎週木曜日）、少林寺拳法体操（隔週火曜日）、外出活動として日帰り旅行（群馬サファリパーク）、小グループでの外出（買い物・食事）を行うなど利用者の皆様に楽しんでいただける活動の提供に努めました。

また、30年度についてはスヌーズレンに対する理解、活動の充実という重点目標を立て、スヌーズレンルームのリニューアルに合わせた職員研修会の企画、スヌーズレン機器を活用した活動の見直し等の取り組みを行いました。

### セルプみなみ（生活介護事業・就労継続支援事業B型）

社会就労センターの基本機能である「一般就労が困難な障害者に一定の支援のもとに就労の機会を提供する」を主目標とし、ご家族と連携して支援するとともに、地域で安心して働き、暮らすことができるよう継続的かつ安定的に生産活動を提供しました。

特に、クッキー等製造・販売では積極的なイベント販売への参加や、官公需の受注により一定の成果をあげ、前年度上回る工賃実績を得ることができました。

作業実績としては、B型が達成率96.4%と目標を少し割り込みましたが、生活介護が達成率115.5%と目標を上回り、好調でした。

### グループホーム ドナルド（共同生活援助）

利用者が地域において共同して自立した日常生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において相談や入浴、排泄又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切に行ないました。

### **ビタミンクラブ**（放課後等デイサービス）

知的な障害を持つ児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適應することができるよう、身体及び精神の状況並びに、そのおかれている環境にに応じて、その都度適切な支援及び訓練を行うことを主目標とし、怪我や事故等の無いようにサービス提供を行ってきました。利用者の個性や人格を尊重し、1人1人のニーズに合わせて日常生活支援、集団生活適応支援等を遊びや活動を通して行い、個々の自立に向けたきめ細かな支援を行いながら、利用者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を行いました。

### **日中一時支援事業 スマイル**（日中一時支援事業）

スマイルの基本方針である「障害・年齢の枠にとらわれず、幅広い視野から地域で暮らす全ての方の様々なニーズに対して心のこもったサービスの提供」を主目標とし、サービス提供を行ってきました。児童・成人の方々が幅広く利用になり、様々なニーズに合わせた支援やドライブ・散歩といった郊外活動も取り入れ、普段と違った環境の中で怪我や事故が無いように、安心して一緒に過ごして頂けるよう支援を行いました。

### **両毛圏域障害者就業・生活支援センター**（就業・生活支援センター）

障害者からの相談に応じ、就業及び日常生活上の問題に関する指導・助言等を行うほか、職場定着促進のため、事業主に対して必要な助言等を行うとともに、関係機関との連携等を図りました。相談支援件数2,246件に対し、就職件数は88件。事業主に対する助言は、支援対象事業所数135事業所で1,920件でした。

### **足利むつみ会障害者相談支援センター**（指定相談事業所）

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業として生活全般に係る相談及びサービス利用計画の作成等に関する業務を行いました。指定一般相談支援事業にかかる相談はありませんでした。指定特定相談支援事業計画作成数は年間でプラン作成164件、モニタリング317件。指定障害児相談計画作成数は、プラン作成44件、モニタリング32件でした。

### **特別養護老人ホーム青空**（介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業・通所介護事業・居宅介護支援事業）

高齢化社会において、利用ニーズの高まりを受け、より選ばれる施設として、地域に根差し、安心なセーフティネットとなれるよう事業運営をして来ました。また社会問題にもなっている高齢者虐待について、防止することの重要性を考え、接遇についての見直しのための研修や接遇強化キャンペーンなどを実施し、自身の接遇について考え、意識を高める機会としました。また特養の入居希望者の増加に伴い、短期入所生活介護の入居定員を20床から10床に減らし、特養へ10床転換し定員を60名としました。

### **ふくい保育園**

普通の保育はもとより地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、延長保育、乳児保育、すこやか保育、子育て相談及び地域との交流事業等を実施し、積極的に取り組み大過なく事業を実施することが出来ました。保育園に入園を希望する児童数も増加し、多様化した保育ニーズに対応しながら保護者への子育て支援も充実し、子育てに優しい保育園としての評価をいただきました。認可定員140名に対し、充足率100%でした。

### **キッズピアあしかが**（公益事業）

「キッズピアあしかが」は、子どもたちの運動機能の向上を図るとともに、子育て世代の交流等により子育て支援を行う施設として、子供と保護者が安心して、一緒に、楽しく、自由に遊べ、何度も利用したくなるような楽しい時間を提供することを可能とし、幼少期からの運動機能及び体力の向上に寄与するとともに、子育て世代への交流の場の提供・交流促進、子育てに関する相談・援助、地域の子育て関連の情報提供などを実施しました。来場者数は年間で198,416名でした。団体利用は年間で20組・480名でした。